

経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	43.13	70.02	100.00	4,180

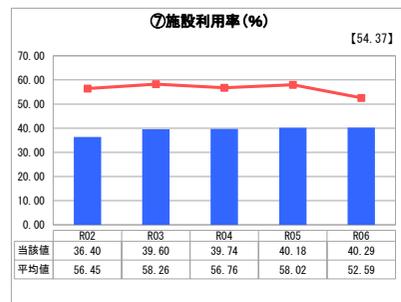
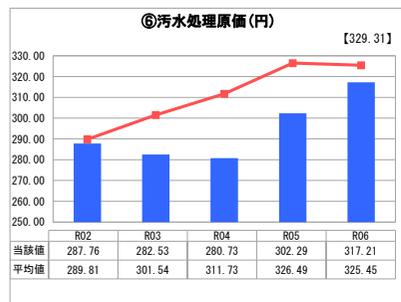
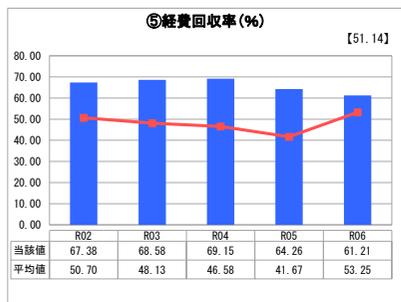
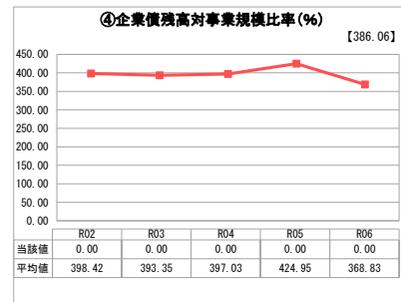
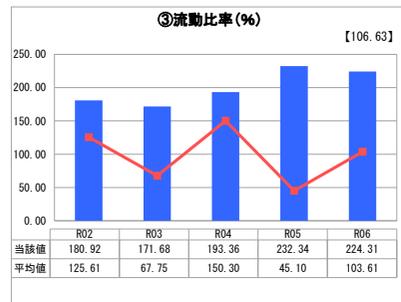
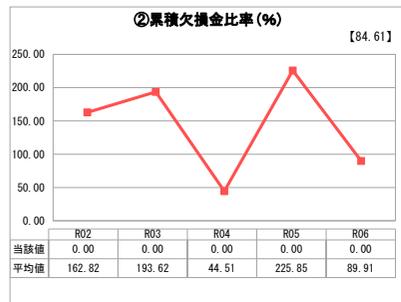
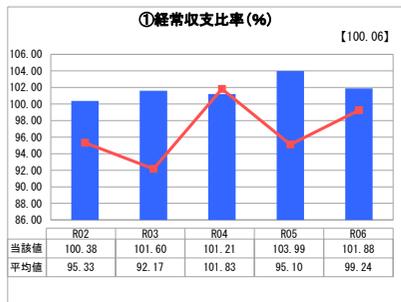
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,972	195.40	240.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,678	188.13	173.70

グラフ凡例

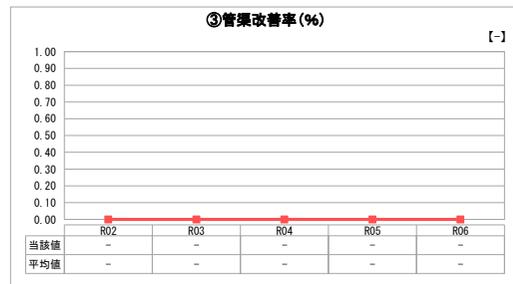
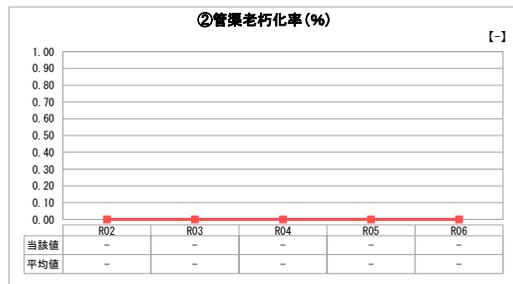
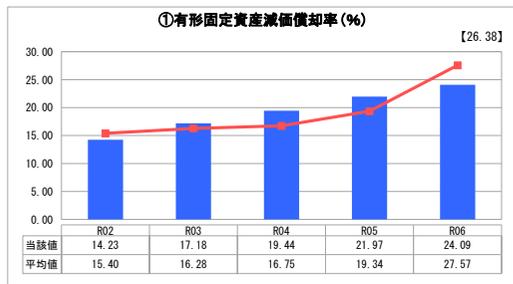
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・「経常収支比率」は、100を超えているが、経常収益をみると、基準外繰入金に依るところが大きい状態である。
- ・「累積欠損金比率」は、0を継続している。
- ・「流動比率」は、全国及び類似団体平均値を大きく上回っているが、市町村設置型浄化槽の整備推進中であり、企業債償還額の増加に伴う流動比率の減少を見込んでいる。
- ・「経費回収率」は、全国及び類似団体平均値を上回っているが、小型浄化槽の設置基数が増えるにつれて経費回収率は減少する傾向にある。
- ・「汚水処理原価」は、全国及び類似団体平均値を下回っているが、公共下水道事業と比較すると高い状況にある。
- ・「施設利用率」及び「水洗化率」については、現在整備推進中により増加傾向にあり、引き続き普及促進に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ・当市の特定地域生活排水処理事業（市営浄化槽事業）は、平成21年度から開始しており、現在も整備推進中である。
- ・「有形固定資産減価償却率」は、全国及び類似団体平均値を若干下回っているが、施設の老朽化は進んできている。
- ・合併浄化槽本体の耐用年数は、30年であることから、未だ改修に至っていない。

全体総括

- ・類似団体平均値と比べた場合、経営状態は比較的良好である。
- ・事業の健全経営を継続していくため、令和7年度に改定した経営戦略に基づき、長期的な視点での経営判断を定期的に行っていく必要がある。
- ・今後の課題としては、合併浄化槽の使用料を踏まえた汚水処理費用の検討に取組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。